

私は鳥栖市にある建設会社で土木現場の担当技術者および測量技師として働いています。カンボジアは熱帯地域に位置しているため、日本とは気候が全く異なります。カンボジアには1年を通して乾季と雨季の2つの季節しかありません。そこには世界的に有名な世界遺産であるアンコールワットがあります。

私の母国には、日本とよく似た伝統行事や食文化があります。例えば、日本のお盆に似た行事は10月頃に行われます。また、そうめんに似た伝統的な麺料理もあり、カンボジアではそれをカレー（スープ）と食べます。



国籍 カンボジア

名前 ミアス ボリアック
年齢 31歳
好きな言葉 幸せ
趣味 自然をテーマにした写真撮影や動画制作



麺料理

私が日本にきた理由は、日本の技術、文化、習慣、そして人々が法律を遵守する姿勢に魅力を感じているからです。令和4年に鳥栖市へ移住し、現在は妻と息子と一緒に暮らしています。私は鳥栖市での暮らしをとっても気に入っています。春から秋にかけて、御手洗の滝や九千部山の豊かな緑など、素晴らしい自然に囲まれているだけでなく、鳥栖山笠のような素晴らしい伝統行事もあり、とても魅力的だと感じています。最後に、私たちが家族で幸せに暮らせる機会を与えてくださった日本政府に心から感謝します。私の持つ技術を生かして、鳥栖市の未来をより良いものにし、次世代のために貢献していきたいと考えています。



家族写真

■やさしい日本語クイズ答え（10ページ）
①電気が使えること
なること②川の水が増えること
③雨がたくさん降ること④地震や大雨のときに逃げる場所

とす新風土記「鳥栖市誌」を読む 第125回

「勝尾城を知る」第21話

鳥津家介入

天正12年（1584年）10月、鳥津家は龍造寺・筑紫・秋月の3者より大友家の討伐を懇願されます。一方で大友家からは、龍造寺家と和平のための仲裁、もしくは打倒のために共に戦うことを打診されます。

鳥津家が出した方針は、大友家と龍造寺家の和解のために仲裁に入るというものでした。鳥津家は両家の間で奔走し『鳥津家が八代まで撤退』を条件に『大友家が筑後から撤退』という案を提示します。これは、鳥津家が龍造寺らを支援しない姿勢を見せることで、緊張状態の緩和を図ろうとしたのです。この案は成立するかに思われました。

しかし、大友家の大軍は高良山（久留米市）から動くことはありませんでした。

鳥津家は、返還されませんの領地は、返還されません降伏した筑後の旧大友家臣の中には、ひそかに鳥津家に寝返った武将がいました。大友家は一方的に筑後の領地を失い、龍造寺らは奪った領地が認められ、鳥津家は戦わずして筑後に進出するという結果になります。大友家からすれば、この和平案は飲める条件ではなかったのです。

天正13年（1585年）5月、大友家は龍造寺が支配する城島城（久留米市）への攻撃を開始し、筑後地方はまた戦場となります。加えて、

鳥津家も筑後地方の親鳥津派の武将らの保護を口実に筑後地方へ出兵しました。

同年9月、北野（久留米市）にて大友方の総大将立花道雪が亡くなります。時を同じくして、筑紫広門が宝満山城（太宰府市・筑紫野市）を攻略します。大將を亡くし、退路を失った大友軍は崩壊、筑後地方を舞台とした大友家との戦いは終わりを告げました。

（鳥栖市誌第3巻第3章より）



▲吉見岳城跡（久留米市）
高良山には何カ所か山城があり、大友軍はこれらに駐留していたと推測される

「鳥栖市誌」発売中

「鳥栖市誌」は、市教育委員会生涯学習課、油屋本店、古賀書店などで取り扱っています。詳しくは、同課（☎0942-85-3695）へ。



「記事ID」をご利用ください

市ホームページの記事ID検索窓に、市報に掲載しているIDを入力することで情報を確認できます。